

# 令和5年度 理科新任教員研修会

公益社団法人 静岡県私学協会

1. 研修目標 「探究心を育む授業」
2. 実施日時 令和5年6月8日(木) 12:50～15:50
3. 研修会場 浜松日体中学校・高等学校  
浜松市東区半田山3丁目30-1 電話053-434-0632
4. 参加者 理科新任教員及び教職経験5年以下の教員等 23名の参加
5. 日程
  - 12:50～13:10 開会式(大会議室)  
挨拶 理科部会長 荻原 義隆 先生  
(静岡県富士見中学校・高等学校 校長)  
諸連絡 田中 智文 先生(浜松日体中学校・高等学校 教諭)
  - 13:10～13:15 移動(2-2)
  - 13:15～14:05 研究授業 1「化学基礎」山本 基枝 先生(同校教諭)
  - 14:05～14:15 休憩・移動(1-4)
  - 14:15～15:05 研究授業 2「物理基礎」清水 宏樹 先生(同校教諭)
  - 15:05～15:15 休憩・移動(大会議室)
  - 15:15～15:50 研究協議  
講評 理科部会長 荻原 義隆
  - 15:50～ 閉会  
挨拶 理科副部会長 青木 翔平
6. 参加者アンケートより
  - ① 今回の研修会に参加して
    - 1) とても参考になった…10名
    - 2) 参考になった…9名
    - 3) 物足りない…1名
  - ② 感想等
    - ・ICT授業をどのように実践しているのかを見ることができた。
    - ・分子モデルの活用の仕方、教科書に載っていない発展の扱い方が参考になった。
    - ・動画の活用で物理現象がイメージしやすかった。
    - ・ロイロノートを使っての授業(アンケート、提出箱、画面制御)が参考になった。
    - ・生徒主導の授業を作るときに、分子モデルやロイロを使って考えるきっかけを作ることができることがよく分かった。

- ・生徒に考えさせる場面を設けた場面が参考になった
- ・タブレットと板書を併用する書き方の工夫が良かった。
- ・実験的な授業と講義的な授業の両方を参観でき、それぞれの難しさや探究心の上げ方などが参考になった。
- ・問題解決的な授業展開する方法がわかりやすかった。

③ 今後のテーマについて

- ・各校における授業実践（物理・化学・生物の3科目）
- ・基礎学力が低い生徒や学習意欲が乏しい生徒への授業の在り方
- ・ロイロノート以外のICTを活用した授業や教材の使い方
- ・視覚で捉えにくいイメージしにくい粒子などの分野について
- ・理科としての受験指導・進路指導について
- ・実験を主体とした研修
- ・ベテランの先生の授業を見たい
- ・物理と数学の関係
- ・観点別評価を意識した授業見学と意見交換
- ・課題解決型の授業研究